

栃木県薬局取扱い  
後発医薬品調査結果  
(平成 25 年6月)

栃木県後発医薬品安心使用促進協議会

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、県内の薬局が採用している後発医薬品（診療報酬において加算等の対象となる後発医薬品）を調査・集計し、地域の採用傾向等を把握するとともに、薬局等へ結果をフィードバックすることにより、地域薬局における後発医薬品選択の目安となる情報の共有、及び、在庫負担の軽減を図ることを目的とする。

### 2 実施方法等

#### (1) 調査対象薬局

県内各市町の人口及び薬局数を勘案し、約 800 薬局の中から 100 薬局を選定し、調査対象とした。なお、回答薬局数は 92 薬局（回収率 92%）であった。

表 1 選定の基準となる薬局数及び回答薬局数

地域 薬剤師会	市町名等		基準薬局数		回答 薬局数
			市町別	地域別	
宇都宮	宇都宮市		22	22	21
日光	日光市		4	4	4
鹿沼	鹿沼市		5	6	6
	栃木	栃木市	旧西方町		
旧西方町を除く			7		
壬生町			2	11	11
岩舟町		2			
芳賀	真岡市		5	9	7
	益子町		1		
	茂木町		1		
	市貝町		1		
	芳賀町		1		
小山	小山市		8	15	13
	下野市		4		
	上三川町		2		
	野木町		1		
大田原	大田原市		4	7	7
	那須塩原市	旧西那須野町・塩原町	3		
黒磯		旧黒磯市	3	4	4
	那須町		1		
塩谷	矢板市		2	6	6
	さくら市		2		
	塩谷町		1		
	高根沢町		1		
南那須	那須烏山市		1	2	2
	那珂川町		1		
足利	足利市		8	8	6
佐野	佐野市		6	6	5
	計		100	100	92

(2) 調査対象期間及び内容

調査対象薬局において、4月1日から6月30日の期間に取り扱った後発医薬品、及び、6月30日現在で在庫がある後発医薬品を調査した。

調査票は、医療機関等で保険診療に用いられる医療用医薬品として官報に告示されている（薬価基準に記載されている）品目リスト（平成25年5月）から、後発医薬品（外用薬及び内用薬）を抽出し、作成した。

(3) 調査結果の集計方法

調査対象薬局から回収した調査表について、薬局ごとに、取扱品目リストを作成するとともに、一般社団法人栃木県薬剤師会（以下「県薬剤師会」という。）における地域薬剤師会単位で、品目ごとに取り扱っている薬局数を集計した。

## II 調査結果

### 1 内用薬

「地域薬剤師会別後発医薬品取扱い薬局数」を別表1に示す。また、「薬局における後発医薬品取扱い状況（内用薬）」を表2、「全薬局における取扱後発医薬品別取扱薬局数の割合」を図1に、「在庫後発医薬品別薬局数の割合」を図2に示す。

表2 薬局における後発医薬品取扱い状況（内用薬）

	全薬局	宇都宮	日光	鹿沼	栃木	芳賀	小山	大田原	黒磯	塩谷	南那須	足利	佐野
取扱品目数	2,200	1104	367	398	605	251	656	459	426	284	170	437	173
取扱品目数（平均）	84.5	96.9	124.5	89.5	82.9	45.3	74.7	94.4	128.5	57.0	92.5	97.0	43.6
1薬局取扱品目数（最大）	249	249	167	139	145	104	130	171	180	99	116	157	63
1薬局取扱品目数（最小）	3	13	71	56	35	3	22	38	103	5	69	32	28
在庫品目数	2,595	1243	373	470	726	339	905	485	434	330	167	666	337
在庫品目数（平均）	104.3	100.5	124.0	105.7	105.1	69.7	103.3	99.6	131.8	66.2	91.0	156.0	83.0
1薬局取扱品目数（最大）	333	287	168	139	149	116	302	213	186	114	112	333	129
1薬局取扱品目数（最小）	8	17	99	78	56	15	28	38	106	8	70	41	35
調査薬局数	92	21	4	6	11	7	13	7	4	6	2	6	5

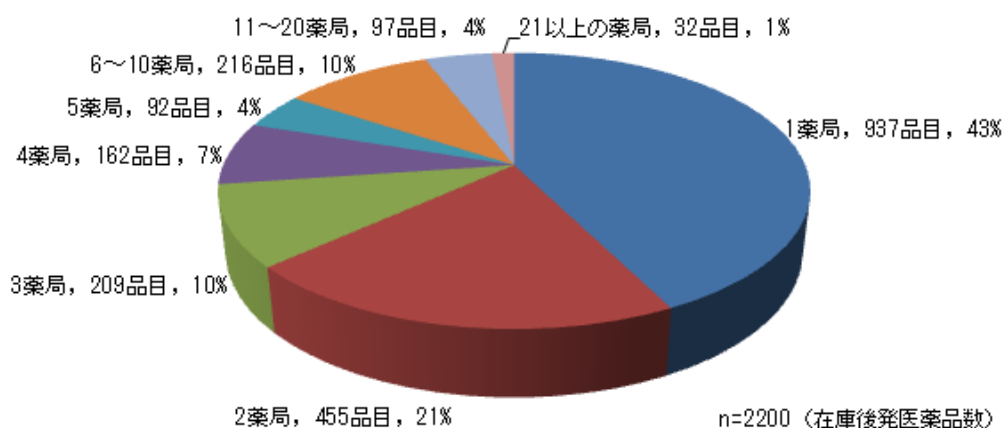


図1 全薬局における取扱後発医薬品別取扱薬局数の割合（内用薬）

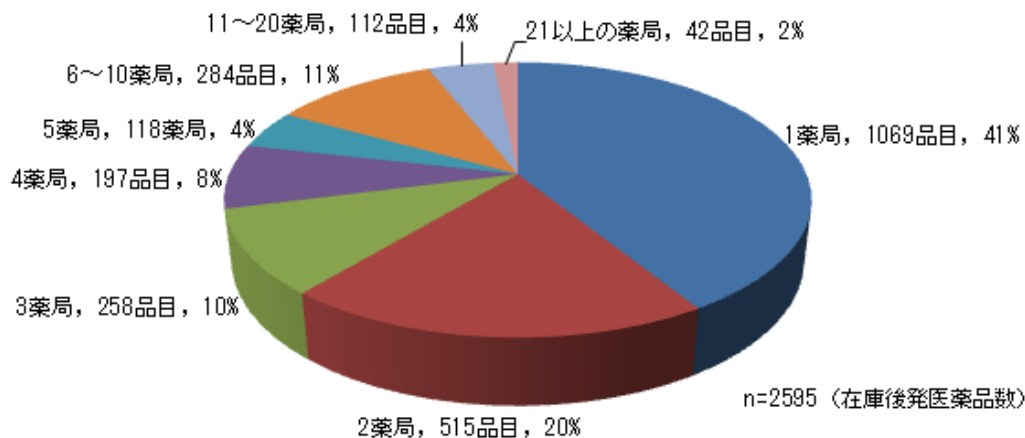


図2 全薬局における在庫後発医薬品別薬局数の割合（内用薬）

(1) 取扱品目

- ❖ 調査した内用薬の後発医薬品数は、5317品目であり、そのうち2200品目（41.4%）が、4月1日から6月30日の期間に、県内で取り扱われていた。[表2]
- ❖ 1薬局当たりの後発医薬品平均取扱い数は、85品目程度であり、一番多い薬局では、249品目を取り扱っていた。また、取扱いが一番少ない薬局は3品目であった。[表2]
- ❖ 1薬局当たりの後発医薬品平均取扱い数が多い地区は、日光及び黒磯地区で120品目以上であった。少ない地区は、芳賀及び佐野地区で40品目程度であった。[表2]
- ❖ 取扱品目別に見ると、937品目（43%）は、それぞれ1薬局のみの取扱いであった。一方で、32品目（1%）は、21以上の薬局が取り扱っており、92薬局中82薬局が取り扱っている品目もあった。[図1]

(2) 在庫品目

- ❖ 調査した内用薬の後発医薬品数は、5317品目であり、そのうち2595品目（48.8%）が、6月30日現在で在庫されていた。[表2]
- ❖ 1薬局当たりの後発医薬品平均在庫数は、105品目程度であり、一番多い薬局では、333品目を在庫していた。また、在庫品目数が一番少ない薬局は8品目であった。[表2]
- ❖ 1薬局当たりの後発医薬品平均在庫数が多い地区は、足利地区で156品目程度、少ない地区は、芳賀及び塩谷地区で60品目程度であった。[表2]
- ❖ 在庫品目別に見ると、1069品目（41%）は、それぞれ1薬局のみで在庫していた。一方で、41品目（2%）は、21以上の薬局が在庫しており、92薬局中84薬局が在庫している品目もあった。[図2]
- ❖ 地区ごとの取扱品目数（平均）と在庫品目数（平均）を比較すると、取扱品目数が多い地区は、在庫品目数も多い傾向にあったが、92薬局の中には、取扱品目数と比べて在庫品目数が3倍以上となっている薬局が5カ所あった。[表2]

## 2 外用薬

地域薬剤師会別後発医薬品取扱い薬局数を別表2に示す。また、「薬局における後発医薬品取扱い状況（外用薬）」を表3に、「全薬局における取扱後発医薬品別取扱い薬局数の割合」を図3に、「在庫後発医薬品別薬局数の割合」を図4に示す。

表3 薬局における後発医薬品取扱い状況（外用薬）

	全薬局	宇都宮	日光	鹿沼	栃木	芳賀	小山	大田原	黒磯	塩谷	南那須	足利	佐野
取扱品目数	431	193	68	60	132	66	125	61	73	61	38	75	53
取扱品目数（平均）	17.2	16.7	25	15.7	20.1	13.1	17.6	15.3	24.3	13.5	21.5	16.8	13.4
1薬局取扱品目数（最大）	50	50	36	32	30	31	27	30	34	30	30	20	32
1薬局取扱品目数（最小）	1	5	7	8	10	3	2	9	17	1	13	14	4
在庫品目数	488	214	70	65	151	76	168	75	79	65	40	101	65
在庫品目数（平均）	21	20.4	27.3	18.2	25.2	17	23.5	18.4	27.5	14.3	23.5	22	16.8
1薬局取扱品目数（最大）	62	62	36	32	38	35	44	44	35	32	30	39	39
1薬局取扱品目数（最小）	1	7	18	9	12	7	9	10	21	1	17	13	7
調査薬局数	92	21	4	6	11	7	13	7	4	6	2	6	5

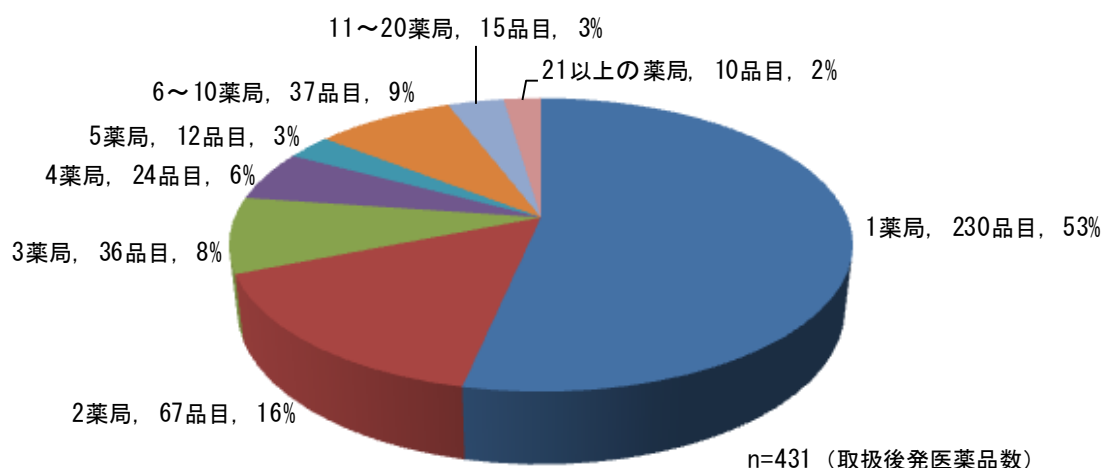


図3 全薬局における取扱後発医薬品別取扱い薬局数の割合（外用薬）

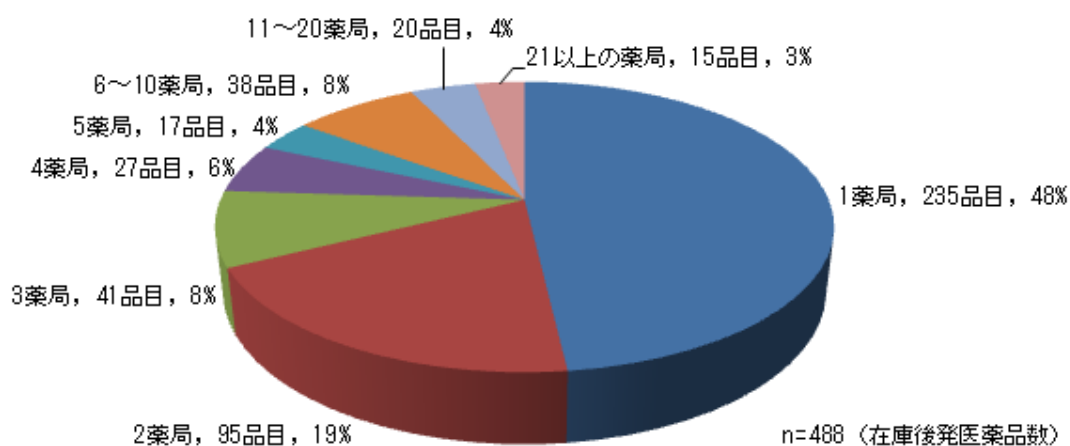


図4 全県における在庫後発医薬品別薬局数の割合（外用薬）

#### (1) 取扱品目

- ❖ 調査した外用薬の後発医薬品数は、1201 品目であり、そのうち 431 品目 (35.9%) が、4 月 1 日から 6 月 30 日の期間に取り扱われていた。[表 3]
- ❖ 1 薬局当たりの後発医薬品平均取扱数、17 品目程度であり、一番多い薬局では、50 品目を取り扱っていた。また、取扱数が一番少ない薬局は 1 品目であった。[表 3]
- ❖ 1 薬局当たりの後発医薬品平均取扱数が多い地区は、日光及び黒磯地区で 25 品目程度、少ない地区は、芳賀、塩谷及び佐野地区で 13 品目程度であった。[表 3]
- ❖ 取扱品目別に見ると、230 品目 (53%) は、それぞれ 1 薬局のみの取扱いであった。一方で、10 品目 (2%) は、21 以上の薬局が取り扱っており、92 薬局中 70 薬局が取り扱っている品目もあった。[図 3]

#### (2) 在庫品目

- ❖ 調査した外用薬の後発医薬品数は、1201 品目であり、そのうち 488 品目 (40.6%) が、6 月 30 日現在で在庫されていた。[表 3]
- ❖ 1 薬局当たりの後発医薬品平均在庫数は、21 品目であり、一番多い薬局では、62 品目を在庫していた。また、在庫品目数が一番少ない薬局は 1 品目であった。[表 3]
- ❖ 1 薬局当たりの後発医薬品平均在庫数が多い地区は、黒磯地区及び日光地区で 27 品目程度、少ない地区は、塩谷地区で 14 品目程度であった。[表 3]
- ❖ 在庫品目別に見ると、235 品目 (48%) は、それぞれ 1 薬局のみで在庫していた。一方で、15 品目 (3%) は、21 以上の薬局が在庫しており、92 薬局中 77 薬局が在庫している品目もあった。[図 4]
- ❖ 地区ごとの取扱品目数 (平均) と在庫品目数 (平均) を比較すると、取扱品目数が多い地区ほど、在庫品目数も多い傾向があった。[表 3]

### Ⅲ 調査結果の公開

調査結果は、地域薬剤師会単位による集計結果を、一般に公開するとともに、関係団体、病院及び薬局等へ通知することにより、結果のフィードバックを図る。

また、薬局ごとの取扱品目リストについては、県薬剤師会の会員情報サイトに掲載することにより、地域における薬局間の連携強化を図る。